

医療事故調査教育セミナー2017

(日本語社会人教育プログラム)

事前配布資料

期 間: 2017 年 8 月 5 日(土)～6 日(日)

会 場: 東京大学医学部 1 号館 3 階大講堂
(東京大学本郷キャンパス赤門入る)
〒177-0033 東京都文京区本郷7-3-1



主 催:
国際医療リスクマネジメント学会

担当事務局
国際医療リスクマネジメント学会本部
〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102
(電子メール) head.office02@iarmm.org
(Tel/Fax) 03-3817-6770

(参加者への注意)

1) 会場受付の開始時間

2017年8月5日(土)午前9時

2017年8月6日(日)午前8時30分

2) テキストおよび領収書は2017年8月5日朝の会場受付でお取りください。

3) 受講修了証は8月6日午後4時以降に受付でお渡しします。

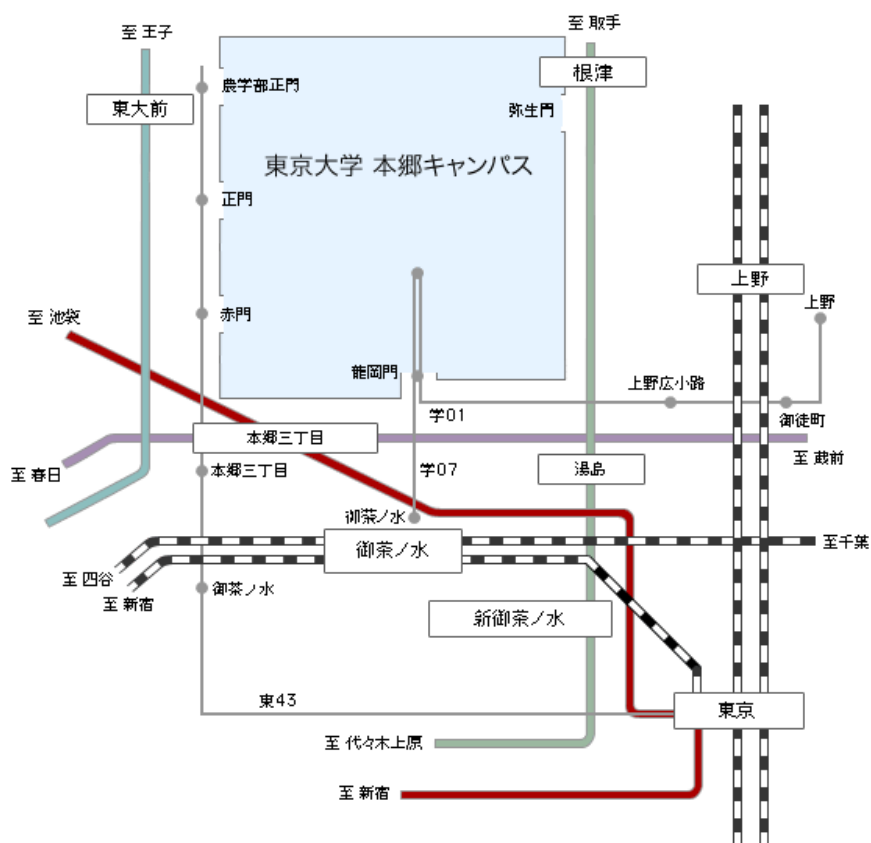
4) 多数の参加者に対する教育プログラムのため、カメラ撮影・ビデオ撮影は他の参加者の迷惑になりますので遠慮ください。

(対象者) 国際医療リスクマネジメント学会の会員、日本医療安全学会の会員、医療安全管理者、臨床リスクマネージャー、医薬品安全管理者、歯科医療安全管理者、医療機器安全管理者、医師、看護師、薬剤師、歯科医師、臨床工学技士、放射線技師、歯科衛生士、医療従事者、医療産業従事者

1) 本年度から厚生労働省は全国の医療施設に対して医療事故調査の発生時に院内における医療事故の原因調査を義務化しました。それを受けて、本セミナーは、院内での医療事故調査を実施する際に必要となる基本的な知識を提供します。

2) 本プログラムは、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度での必須科目の一部ともなります。

交通案内



最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅 (地下鉄丸の内線)	徒歩 8 分
本郷三丁目駅 (地下鉄大江戸線)	徒歩 6 分
湯島駅又は根津駅 (地下鉄千代田線)	徒歩 8 分
東大前駅 (地下鉄南北線)	徒歩 1 分
春日駅 (地下鉄三田線)	徒歩 10 分

御茶ノ水駅 (JR 中央線、総武線)	地下鉄利用	丸の内線(池袋行) — 本郷三丁目駅下車
	地下鉄利用	千代田線(取手方面行) — 湯島駅又は根津駅下車
	都バス利用	茶 51 駒込駅南口又は東 43 荒川土手操車所前行 東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車
	学バス利用	学 07 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
御徒町駅 (JR 山手線等)	都バス利用	都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 本郷三丁目駅下車
		都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 湯島四丁目下車
上野駅 (JR 山手線等)	学バス利用	学 01 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車

会場案内 TEL 03-3812-2111

東京大学医学部1号館3階大講堂



飲食について

講堂内での飲食は一切禁止されています。

飲食店は下記をお勧めします。

東大安田講堂地下食堂

東大正門～本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。

プログラム

2017 年 8 月 5 日(土)午前 10 時～午後 4 時

東京大学医学部 1 号館 3 階大番講堂

受付開始 9:00

10:00 開会

10:00-12:00 事故調査方法の概要

酒井 亮二 (国際医療リスクマネジメント学会理事長、日本医療安全学会理事長)

医療事故には死亡事故と大量の非死亡事故が存在します。今回、すべての医療事故に対する調査において必要となる、ヒューマンファクター学、リスク学、ビックデータ分析などの関連専門分野を概説します。

12:00～13:00 昼食

13:00-16:00 院内医療事故調査制度での事故調査の進め方 ―― 医療安全管理者・医師の立場から

松村 由美 (京都大学附属病院医療安全管理室 教授、日本医療安全学会理事)

(概要) 2015 年 10 月に厚労省によって開始された本制度は、死亡事故の事例から事故予防策を提言することを目的とします。

演者は京大病院での経験をもとに本テーマに関する著書を最近刊行しました。

院内での死亡事故の調査の進め方を医療安全管理者・医師の立場から解説していただきます。

16:00 第 1 日目終了

2017 年 8 月 6 日(日)午前 9 時～午後 4 時

東京大学医学部 1 号館 3 階大番講堂

受付開始 8:30

9:00～10:20 医療事故の根本原因分析の方法 ―ヒューマンファクター(人間工学)の立場から

新村 美佐香 (菊名記念病院医療安全管理者、日本医療安全学会代議員)

(概要) 死亡事故を含むすべての医療事故の根本原因の探索する人間工学の代表的な方法を紹介する。
演者は事故根本原因分析方法を国際医療リスクマネジメント学会の教育セミナーにおいて長年にわたって講師・実習指導者を務めてきました。

10:20～10:30 休憩

10:30～12:00 院内医療事故調査制度の現状と問題点 ― 弁護士の立場から

木下 正一郎 (弁護士、日本医療安全学会代議員)

(概要) 本制度は発足間もないため、制度としてさらに充実すべき課題がいくつかあり、今回は弁護士の立場からみた問題点・注意点を解説していただきます。

12:00～13:00 昼食

13:00～16:00 院内医療事故調査の進め方 ― 弁護士の立場から

井上 清成 (弁護士、日本医療安全学会代議員)

(概要) 講師は院内医療事故のあり方に関するいくつかの著書を弁護士の立場から刊行しています。
今回、講演と共に、課題を設定した演習(ロールプレイ)を行っていただきます。

16:00 全コースの終了